

Vol.0

2015

Senyukai news



25th anniversary

創刊号



《記事》

■法人設立 25 周年と法人広報紙

創刊号発行のご挨拶／沿革 (P1～2)

■＜特集＞ “スタッフ座談会” (P3～4)

「こんなこといいな♪

できたらいいな♪」

■活動報告・催事案内 (P5～6)

＜報告＞

- ・法人勉強会
- ・職員採用活動
- ・関東ブロック
老人福祉施設総会表彰
- ・アクティブ福祉 in 東京' 15
- ・自衛消防訓練審査会

＜案内＞

- ・第7回 東日本大震災復興支援
チャリティーコンサート

■寄付・寄贈・編集後記等 (P7)



社会福祉法人

泉陽会

2015/12/01 発行

- ・光陽苑
- ・第二光陽苑
- ・新町光陽苑
- ・第三光陽苑いずみ
- ・上荻ふれあいの家
- ・練馬区立関高齢者センター
／区民ホール(練馬区指定管理)
- ・練馬区立石神井台敬老館(練馬区委託事業)
- ・練馬区立南田中敬老館(練馬区委託事業)



「法人広報紙創刊にあたり」

社会福祉法人 泉陽会 理事長 加藤 修一

この度、泉陽会といたしまして法人広報紙を創刊する運びとなりました。平成2年に法人を設立し、今年で25年目、四半世紀を迎え、これを機に創刊いたします。

このような形で皆様にご挨拶できるのも関係各位、またそれぞれの事業所における地域の皆様のご支援とご指導の賜物と心から感謝を申し上げます。

さて、今日の社会福祉法人を取り巻く環境については、ご承知のとおり大変厳しい状況下に置かれております。

「黒字を溜め込む社会福祉法人」が発端となった内部留保問題、供給自体が多様化し、民間参入の可能な事業に対するイコールフットینگ論からなる課税問題、社会

福祉法改正とそのスピードは我々の思うところをはるかに凌駕する早さです。

しかし、我々も制度によって守られた事業、つまり財源が確保されている事業しか行わないのであれば、やはり市場原理からいっても対抗することはできません。非課税であり、非営利であり、公的組織としての役割をアドバンテージとして事業を行うのであれば、地域における公的な取り組みを行わなければなりません。

泉陽会はこれからも高齢者福祉を中心に、地域のニーズを的確にとらえ、必要とされるサービスや支援を「創造」し、「実践」できる法人を目指します。

右へ



平成2年(1990年)

3月 社会福祉法人の認可書を東京都より交付され、泉陽会を登記する
 〈流行語〉アッシー君、おやじギャル、ボーダーレス、成田離婚
 〈出来事〉バブル経済崩壊で株が暴落、礼宮文仁親王様が妃子様と結婚

平成3年(1991年)

4月 特別養護老人ホーム光陽苑事業開始(60床)
 〈流行語〉潔シンドローム、バツイチ、じゃありませんか
 〈出来事〉新宿に新東京都庁移転(開庁)、雲仙普賢岳で大火砕流発生
 5月 光陽苑老人デイサービスセンター事業開始(1日35名)
 6月 光陽苑認知症高齢者デイホーム事業開始(1日10名)
 光陽苑ショートステイ事業開始(4床)

平成7年(1995年)

2月 光陽苑在宅介護支援センター事業開始(練馬区委託事業)
 〈出来事〉阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件
 4月 光陽苑ホームヘルプサービス事業開始
 光陽苑デイサービスセンター入浴事業開始
 ※現在、地域包括支援センター支所

平成11年(1999年)

4月 特別養護老人ホーム第二光陽苑事業開始(80床)
 〈流行語〉ブッチホン、カリスマ、リベンジ、ヤマンバ、2000年問題
 〈出来事〉だんご3兄弟が大ヒット、上信越自動車道が全線開通

5月 第二光陽苑デイサービスセンター事業開始(1日35名)
 第二光陽苑ホームヘルプサービス事業開始
 第二光陽苑訪問看護ステーション事業開始(平成23年12月まで)
 10月 居宅介護支援事業(光陽苑・第二光陽苑 事業開始)
 ※現在、地域包括支援センター支所
 第二光陽苑在宅介護支援センター事業開始(練馬区委託事業)
 第二光陽苑認知症高齢者デイホーム事業開始(1日10名)
 第二光陽苑ショートステイ事業開始(30床)

平成12年(2000年) ★各事業が介護保険事業として新スタート★

10月 介護保険法施行、三宅島噴火で全島民避難、2千円札発行
 12月 社会福祉法人泉陽会 ホームページ開設
 社会福祉法人泉陽会 新基本理念制定
 〈流行語〉おっは、IT革命、ジコチュー、「官」対「民」
 〈出来事〉介護保険法施行、三宅島噴火で全島民避難、2千円札発行

平成17年(2005年)

12月 グループホーム第三光陽苑いすみ事業開始(18床)
 〈流行語〉想定内、クールビズ、ブログ、フォロ、萌え
 〈出来事〉JR福知山線脱線事故、愛知県で「愛・地球博」が開幕





福祉への情熱 25周年

「私たちは **心** と **手** で包み込むケア」を実践します♪

法人設立から25年…。運営事業所が増え、サービスも時代にあわせて変化してきました。しかし、昔も今も…これから先も…変わらないことがあります。

それは・・・

- 一、私たちの仕事は温かい『**心**と**手**』がなければできないということ。
- 一、皆様の温かい『**心**と**手**』が私たちを絶えず支えて下さっているということ。

そして・・・この継続が泉陽会「福祉への情熱25周年」の証です。

※開始事業を主体に記載し、定員数等は平成27年12月現在を表示しています

12月 法人設立25周年を記念して法人広報紙創刊号発行
社会福祉法人 泉陽会のロゴマークデザイン作成
平成27年(2015年)



新町光陽苑ショートステイ事業開始(10床)
※地域包括支援センター
高齢者あんしんセンター事業開始(北区委託事業)
新町光陽苑デイサービスセンター事業開始(1日30名)
※うち、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護24床
4月 特別養護老人ホーム新町光陽苑事業開始(90床)
〈流行語〉今でしょ、おもてなし、じえじえええ、倍返し、アベノミクス
〈出来事〉富士山が世界文化遺産登録、福知山花火大会露店爆発事故
平成25年(2013年)



4月 練馬区立南田中敬老館管理業務委託事業開始
〈流行語〉ワイルドだろ、IPS細胞、爆弾低気圧
〈出来事〉東京スカイツリー開業、生の牛レバー提供禁止
平成24年(2012年)



4月 練馬区立石神井台敬老館管理業務委託事業開始
3月 第三光陽苑いすみ通所介護事業開始(1日13名)
〈流行語〉ゲゲゲの、イクメン、食べるラー油、うなう、女子会
〈出来事〉所在不明高齢者問題、家畜伝染病「口蹄疫」非常事態宣言
平成22年(2010年)



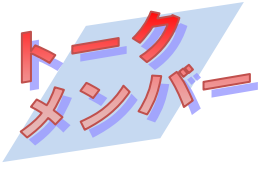
2月 上荻ふれあいの家認知症対応型通所介護事業開始(1日10名)
〈流行語〉どげんかせんといかん、そんなの関係ねえ、ネットカフェ難民
〈出来事〉第1回東京マラソン開催、新潟県中越沖地震が発生
平成19年(2007年)



上荻ふれあいの家居宅介護支援事業開始
上荻ふれあいの家通所介護事業開始(1日30名)
4月 練馬区立関高齢者センター及び関区民ホールの指定管理者事業開始
〈流行語〉イナバウアー、品格、メタボ、ハンカチ王子、格差社会
〈出来事〉日本の人口率65歳以上が世界最高15歳以下が世界最低に
平成18年(2006年)

<特集> 「こんなこといいな♪」

第1弾



広報委員 進行・編集
本田 哲也



第三光陽苑 グループホーム
介護士：永井菜津稀



光陽苑 デイサービス
課長：塚田 修一

本田：今日は、泉陽会が設立 25 周年を迎えると同時に、この先「こんなことができれば…」という想いを専門職の皆さんの視点で語って頂きます。

Q. 泉陽会が社会福祉法人として歩み続けるには？

岡：んん～。高齢社会は確実に進みますからね。社会保障費が削減され、競合他社が増える中で、まずは 10 年後、20 年後に法人が存続していなければならない、そのためには安定した収入を得ながら、利用者にも職員にも良いサービス、良い職場を維持していくことが大切なんでしょうね。

勝原：そうですね。色々な企業が介護業界にも参入してきて、サービスも多種多様化が進んできましたからね。利用者にとっても選択肢が増えてきていると思います。こういった中で社会福祉法人が介護事業をやっているということについては、企業との差別化を図っていかなければならないし、求められてくると思います。社会福祉法人は税制面等でも何故優遇されているのかということを考え直さなければいけないと思うんです。

塚田：そういった意味では、企業とは違う「社会貢献・地域還元」ということが、これからのキーワードの一つになってくるんじゃないかな。

Q. 少子化の世の中、介護力を維持していくには？

塚田：介護ロボットも世の中の話になってきましたよね。既に介護負担を軽減するために部分的に導入を始めている施設もあると聞きますが、どうなっていくんだろう…考えさせられます…。

永井：介護ロボット…。介護が作業的になるイメージがわいてきますね。私たちの負担は軽減されるかも知れませんが、やっぱり介護って温かいものですから、利用者さんの気持ちはどうなるんだろうと考えてしまいますね。

鈴木：そこが大事なんですよ。手を握るだけでも背中さすだけでも皆さん安心してホッとしてくれるんですよ。それがロボットの手となったら違ってくるのかな。介護は作業じゃないですから…。

永井：もし、ロボットにやってもらおうとしたらシーツ交換かな。4 床やるだけでも大変だし、そこをやってもらった分、利用者に関わる時間が増えるから。



できたらいいな♪」

スタッフ 座談会



＊第二光陽苑 特養＊
看護師：鈴木 栄子



＊第二光陽苑 居宅介護支援＊
ケアマネジャー：岡 伸行



＊新町光陽苑＊
管理栄養士：勝原 千世



勝原：ただ、ロボット導入とか単に介護の労働力を増やせば良いということでも無いように感じます。介護の仕事は、職員のアイデア次第でどんどんサービスが広がるはずなのに、それを実現できないのは、施設内でサービスを提供するまでの承認手続きが煩雑なのではないかと感じます。利用者のニーズにいち早く応えるためには、サービスを提供するまでの手続きを簡素化し、介護現場にある程度は「権限委譲」することも必要だと思うのです。もちろん、利用者やご家族から「任せても安心」と思ってもらえるような専門職としてのスキルを高めていく必要もあるし、運営基準上の必要書類削減については、国への発信も必要ですよ。

＊Q. 本題の「こんなことできたら…」と思うことは？＊

岡：んん〜、難しい…。普段いろいろ思うことはあるけど、いざ答えるとなると出てこないですね！

塚田：これから元気な高齢者の方も増えてくるといいますから、その方達と一緒に社会貢献活動ができると理想的ですよ。例えば体力は衰えても、職人の腕や知識は現役世代にまだまだ負けないという人も多いと思うので、低コストでモノ作りをして地域に還元をしたり、高齢者の方が日常的にパソコンを使っている時代でもあるので、ボランティア活動やコミュニティの場としても広がる気がします。皆さん、自分たちでルールもしっかり作れますからね。

鈴木：私が思うのは、社会貢献に直結する話ではないんですけど、職場に託児所があるといいなと思いますね。施設で看護師さんや介護士さんが不足する中、託児所があると職場に戻りやすいし、法人にとっても職員の確保とか定着になるし、そこに先ほど話が上がった元気な高齢者の方にも関わってもらえると一石三鳥ぐらいになる気がします。

永井：私は働くのが好きだから、これから結婚して子供ができたときに、やっぱり職場にそんな環境があったら嬉しいですよ。

本田：仕事社会での女性の活躍は、国としても進めていきたいと考えているようですし、女性が管理職になっても、継続して家庭を大切にできる時間や環境作り、いわゆるワークライフバランスを社会全体で考えていかなければいけないんでしょうね。

岡：何か話を聞いていて、もっと色々やれそうな気がしてきました。まずは明日からの土台作りをしっかりとやって、さらにアイデアを出し合い、出来そうな事をどんどん実現化していきたいですね。そのために、今日みたいな座談会を第2弾・第3弾と是非、続けていきましょう！次回は更に具体化しながら！



活動報告 Activity report

＊法人勉強会＊

～メンタルコミュニケーション勉強会（7/15）～
〔講師〕日本メンタルヘルスケアサポート協会
認定臨床心理カウンセラー 栃木さおり様

泉陽会では、サービスの質や職員の資質の向上を目指して、法人内の全事業所職員が集まる勉強会（年4回）を実施しています。左の写真は練馬区役所多目的ホールで7月に行った時の風景です。ロールプレイングなども取り入れられた内容で、いかに私達の仕事がメンタルヘルスとコミュニケーションが大切であるかを学ぶことができました。



＊職員採用活動＊

～福祉業界合同採用説明会（8/4）～
〔企画〕東京都福祉人材センター

介護業界では、これから先も多くの人材が必要になってきます。泉陽会でも一年を通じて様々な職員採用活動を行っています。中でも東京都福祉人材センターが企画する合同説明会や就職フォーラムには毎回参加をしています。右は合同説明会の写真です。採用担当者は丁寧にわかりやすく、仕事のやりがいや職場の雰囲気を伝えていきます。就職活動中の皆さんも真剣に聞いています。



＊新町光陽苑 高橋施設長が表彰＊

～関東ブロック老人福祉施設研究総会（茨城大会）～

今年は9/10・11 に茨城県で関ブロ研究総会が開催されました。そこで新町光陽苑の高橋施設長が永年勤続感謝状の表彰を受けました。

～高橋施設長から一言～

「このたび、全国老協より永年勤続感謝状をいただき光栄です。今までの経験を糧に、これからも法人・地域の福祉向上、発展のために積極的に邁進してまいります。ありがとうございました。」





アクティブ福祉 in 東京' 15

～〔主催〕東京都社会福祉協議会～

9/29 に新宿京王プラザホテルで開催され、約 1300 名の来場者のもと全体で 72 題の発表があり、今年は光陽苑入所サービス課の吉越介護士が「環境整備への取り組みから見えてきたものとは」という研究テーマで発表しました。

～発表した吉越介護士の感想～

「多くの人前で自己の思いを伝える難しさを感じ、感情を込め伝えることは普段のコミュニケーションにも活かせると思い、今後実行して行こうと思います。」

自衛消防訓練審査会

～〔主催〕石神井消防署・石神井防火管理研究会～

10/9 に都立石神井公園 B 地区野球場にて開催された自衛消防訓練審査会に出場しました。第二光陽苑の女子隊（中川介護士・中原介護士）が優勝、光陽苑の男子隊（鈴木介護士・涸田介護士）が準優勝をおさめました。両隊ともに日頃の防災訓練や審査会に向けての練習成果を発揮することができました。今後も毎年参加を継続しながら「避難誘導・初期消火・119 番通報・応急救護」の重要性を認識していきます。



★第二光陽苑女子隊

優勝！

★光陽苑男子隊

準優勝！



Event guidance

催事案内

第7回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサートやります！

忘れてはいけない復興支援！

泉陽会はやり続けます！



お誘いあわせの上、お気軽にお申し込みください

- 《演奏》 ㈱リムインターナショナル
- 《入場》 無料です！ 受付で募金をお待ちしております！
- 《定員》 200 名 ※超える場合はお断りすることがあります
- 《日時》 平成 28 年 3 月 13 日（日）午後 2：00 ～ 3：30
- 《場所》 練馬区関区民ホール ★西武新宿線 武蔵関駅南口 徒歩 5 分
- 《申込》 電話で受け付けております ☎03-3928-1987

★ロゴマーク作りました★



ロゴマークのコンセプト

法人設立 25 周年を記念して、法人広報紙創刊号発行と同時に「泉陽会ロゴマーク」を作りました。

コンセプトは「優しく手を差し伸べる形を具象化、泉陽会のSと重ねたものをセンターに置き、SとKとYをモチーフに作成しました。泉陽会の泉から水を、陽から陽射しをイメージして柔かい陽射しの中、癒される泉のほとりに居るような穏な気持ちで過ごせる場所。そんな風を感じて頂けたら嬉しいです。気に入って頂けて、愛して頂けたらこの上ない喜びです。」

デザイナー 吉田圭子

温かいご寄附ありがとうございました

＜敬省略＞

新井富士夫 青砥孝吉 (株)アトラス 市川政子 池田美代 石崎靖子 磯部百合子 内堀高子 内田ハル子
海老澤智 折原千恵子 岡本昌子 尾花千代子 大城旭 加藤佳邦 加藤政春 加藤博夫 川上園
菊池ミイ子 菊池俊一 菊池邦友 (有)共栄電気 (株)菊久 (株)協立防災工業 桑原光子 (株)くすりのダイイチ
小林力 (株)コバ建設 河野昭一郎 佐々木美代子 齋藤信一 櫻井セキ 島村英雄 島田富一郎 下野和子
下川喬 新谷伸二 島田裕幸 杉浦文子 須藤明 関町北小学校 関中学校 セントケアリフォーム練馬
高橋政子 高橋和夫 高橋健志 高橋光明 高橋和子 瀧島平八郎 田山京子 高倉晶一 田邊克宣
田嶋光蔵 高嶋昭吾 塚越節子 恒松景子 鶴飼文彦 鳥羽貞夫 東京あおば女性部西大泉地区 豊田生花店
成澤正人 直江修 中川和広 中山庄子 中田叔匡 ならざき美容室 野口(株) 馬場隆市 平野文男
東田端まちづくり協議会 藤田昌弘 藤沼知子 舟越元一 藤沢スミ江 (有)フォーテック 宮澤眞澄 宮間のり子
美香穂会 村井百代 森下葉子 本橋義和 矢吹文江 やすらぎの杜 渡邊純一 (五十音順)

※平成 27 年 4～9 月にご寄附戴きました方を掲載しております。なお、書面の都合により上記記載は、寄附申込時に個人名のあるものについては個人名を、団体名のみ場合は団体名とさせて頂いております。

～ 編集後記 ～

泉陽会が 25 周年を迎えるにあたって、法人広報紙を創刊することが決まり、4 月から準備をしました。

発行にあたり、多くの方々のご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

次回 (Vol.1) は平成 28 年 4 月に「春号」を発行します。どうぞ、お楽しみにしてください。

＜法人広報紙作成委員：高橋、上田、本田、馬場、神山＞

＜発行責任＞

社会福祉法人 泉陽会 法人本部
東京都練馬区西大泉 5-21-2
☎ 03-3923-5264

★ホームページもご覧ください★

<http://www.timelyhit.ne.jp/senyoukai/>

この広報紙は、ウチダ印刷株式会社に依頼し作成しております。

※電話 042-461-6902